

県政モニターアンケートの 結果について

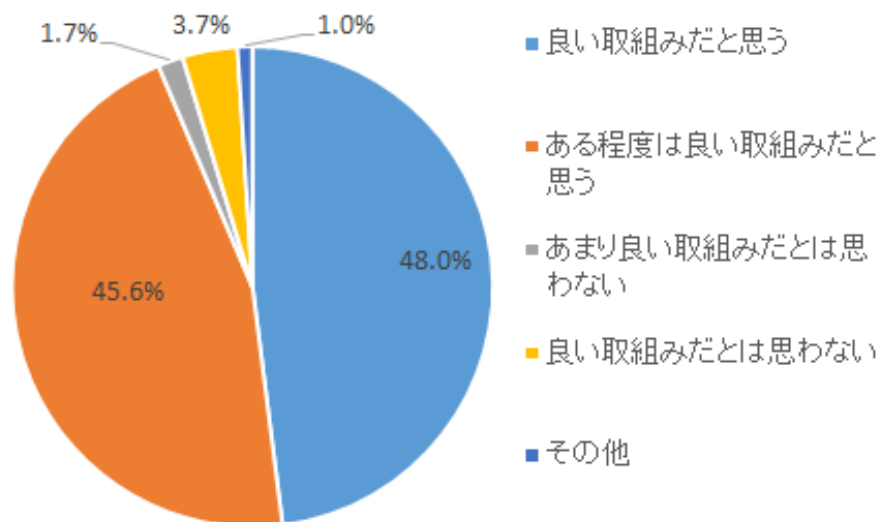
令和4年3月25日

県政モニターアンケートの結果について

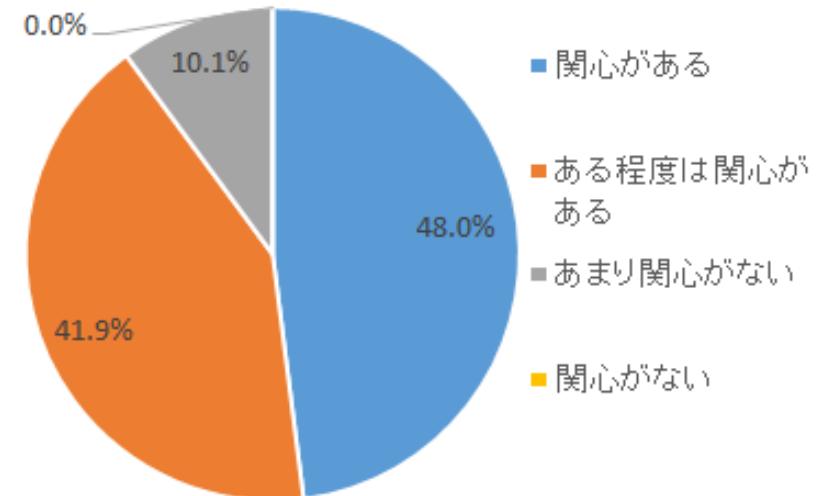
- 令和4年1月、県政モニター※400名に対して福岡県森林環境税に関する調査を実施。296名から回答。（回収率74%）
- 調査内容は、福岡県森林環境税に関する認識や、森林への期待、森林との関わりなどについて。
- 調査の結果、森林環境税を活用した取組みについては、約94%の方が「良い取組」「ある程度良い取組」と評価。また、森林の持つ水源かん養や土砂災害防止などの役割には、約90%の方が「関心がある」「ある程度関心がある」と回答。

※県政モニター：県政に対する県民の意見・要望等を組織的かつ継続的に把握し、県政に活かすことを目的に、県内に住む18歳以上の方を対象に、公募で選任(任期約1年間)

森林環境税を活用した取組に対する評価



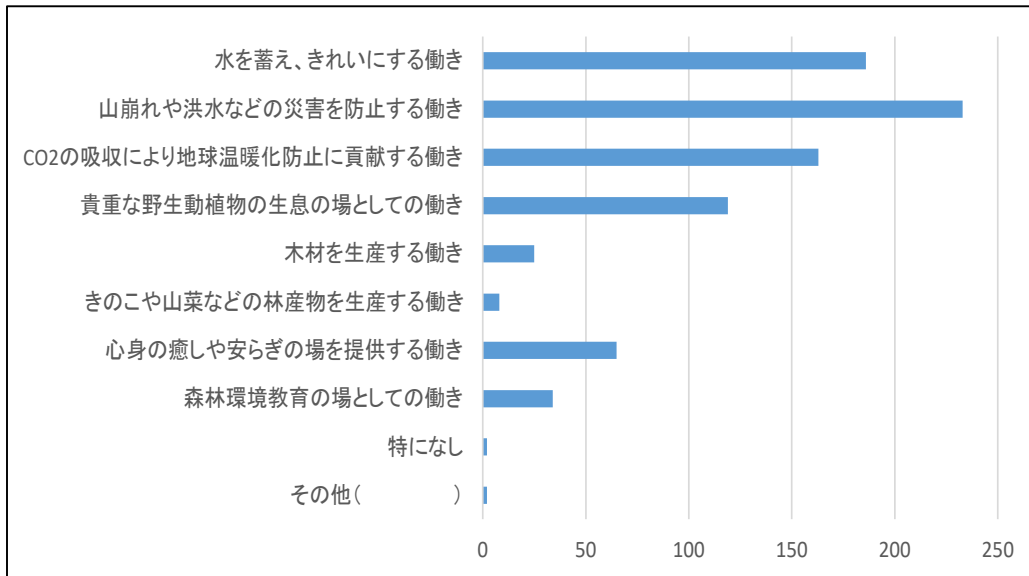
森林の持つ役割への関心



県政モニターアンケートの結果について

- 森林の持つ役割で特に期待するものについては、近年の災害頻発化を受けた「山崩れや洪水等の災害防止」が最も多く、次いで「水を蓄え、きれいにする働き」、「地球温暖化を防止する働き」と続く。
- 今後取り組んでみたい森林に関する活動については、8割以上の方が森林レクリエーションや森林環境教育等の活動に参加してみたいと回答。（※「参加したい活動はない」が17%）
- アンケート結果から、森林の持つ役割への県民の関心・期待は大きく、その適切な管理に森林環境税を活用していることに対しても、一定の理解が得られていると考えられる。一方、情報発信不足を指摘する意見も出されていたことから、今後、情報発信の取組を一層強化する必要。

森林に期待する働きについて(複数回答)



今後取り組んでみたい森林に関する活動(複数回答)

